

群馬県都市緑化祭  
ふるさとキラキラフェスティバル  
花と緑のぐんまづくり  
2015 in 中之条

2015年4月18日から5月31日にかけて「花と緑のぐんまづくり2015in 中之条～ふるさとキラキラフェスティバル～」が盛大に開催されました。

メイン会場は花の駅「美野原」と中之条町中心市街地ということで壁面花壇から始まり、道路沿道には花等が飾られ、地域一体となって美しい景観が整備されました。

群馬県造園建設業協会としても一部スポットガーデンを担当し、和のイメージを基本とした憩いの空間を創作させていただきました。近隣の住民の方々から「こういう空間があちこちにあるといいね。」などと温かいことばを頂きました。

このような緑化啓蒙の一助となる活動は、その場所に住まう方々の緑化に対する意識に少しでも良い影響が与えられるように行っていくことが大切だと改めて実感しました。

今回の活動を通じて「緑から地域活性へ繋げていく」ことが今後の造園業界が切磋琢磨して目指していく活動であると強く考えさせられました。

ご協力いただいた関係各位には深く感謝申し上げます。有難うございました。（株しみづ農園・清水 大助）



ホリデーインまえばし

青年部事業の一環として参加している「ホリデーインまえばし」ですが、今回も例年同様大勢の子供たちで会場は賑わっておりました。

今回は「クライミング・バンブー」と名付けた竹細工のブースを出展しま

した。作製の過程で少々難しい所もありましたが、大人顔負けの器用な子供たちも見受けられ良い作品がたくさん出来ました。そして、多くの皆様に造園業をPR出来たと実感しております。また、無事故・無災害でイベントを終了出来た事が、何よりも良かった事だと思います。これは青年部の一人一人が日頃から安全に対して高い意識を持って仕事に取り組んでいる結果だと思えます。

昨年に引き続き、日本造園組合連合会の方々にも参加して頂きました。前回同様シュロの葉で作る「棕櫚バツタ」は今回も好評でした。

最後に群造協青年部は、ホリデーインまえばしへの参加を通じて地域社会へ貢献出来るようより一層邁進して行きたいと考えます。

（株）高橋造園土木・高橋 俊介



関東甲信造園建設業協会  
協議会

『平成27年度関東甲信造園建設業協議会』～造園サミットin軽井沢2015～が10月2日に開催されました。

開催県の長野県からの挨拶に始まり、各県が抱えている問題等を発表し、意見交換を行いました。『指定管理者の現状と問題点』『公益目的事業の取り組みについて』『植栽管理業務など公共工事の予算縮減への対策について』等、各県の具体的な活動及び取組の発表がありました。群馬県が置かれている現状に極めて参考になる意見が多く、これから生かしていくことの重要性を再認識しました。

視察では、東御市立和保育園（とうみしりつなごみほいくえん）の芝生園庭、小諸マンズワイナリーの庭園、旧軽井沢の街路樹へ行きました。特に芝生園庭では、施工業者による丁寧な現地説明や、ポップアップ式の灌水設備

等見学させていただき大変参考になりました。最後に懇親会でも県毎の垣根もなくお話ができ有意義な時間を過ごさせていただきました感謝いたします。

（カネコ種苗(株)・山本 直）



みどりの清掃



第21回みどりの清掃活動が11月7日(土)に「花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～」の来年度開催予定のみどり市にて「みどりの清掃活動」を実施しました。

今回の清掃活動はみどり市内とながめ公園を中心に協会員やその家族総勢75人が参加し清掃活動を行いました。

当日は天候にも恵まれ清掃活動に参加した皆さんは約2時間の清掃ボランティア行いながら楽しい一時を過ごす事が出来ました。

参加された皆様、ご協力有難う御座いました。

また当日の清掃活動に参加いただいたみどり市役所の担当部署の職員の方々大変有難う御座いました。

（株）森緑造園土木・高橋 光宏



## 安全衛生大会



「平成27年度造園建設業務安全衛生大会」が10月6日(火)に群馬県造園建設業会館に於いて当協会主催により開催されました。

来賓に、群馬労働局、群馬県県土整備部都市計画課、建設業労働災害防止協会群馬県支部よりご出席頂き、造園業に多い墜落や転落の事故防止に努めてもらいたい等のご挨拶を頂きました。

安全衛生講話では、(有)八木原組 代表取締役 八木原真一氏より、ご自身の体験談を中心に他では聞けない貴重なお話を聞くことが出来ました。会員から積極的に質疑し大変有意義な講話になりました。

次の講習会では群馬県県土整備部契約検査課の林洋一氏より「社会保険未加入対策について」事細かに説明して頂きました。建設業に携わる者として避けられない課題なので、皆真剣に耳を傾けていました。

最後に「安全宣言」で大会を終えました。(有)富士造園・北爪 満)

勢多農林高校  
インターンシップ受入

11月10日から12日までの3日間、勢多農林高等学校からの依頼を受け、協会員8社で生徒20名(全て1年生)を受け入れました。

短期間では「造園」の仕事を十分に理解することはできませんが、社会勉強の一端は感じ取ったのではないかと思います。

弊社では、3日間を通して街路樹管理やバラ園の現場で、人力除草や清掃作業を実習してもらいました。生徒達

なりに一生懸命現場実習を行っていましたが、慣れない作業に苦戦をしていました。現場への行き帰りに色々とお話をしました。生徒達も将来のためにいろいろな資格を取りたいとお話をしておりました。

造園業への就職希望者が少ない中で、今回のインターンシップの経験から、仕事に就きたい生徒が増えればと思います。我々も若い人材の受け入れを増やし、業界の発展と技術の継承をしなければと、改めて思いました。

(赤城グリーン(株)・荻原 健)

関東四県  
公園緑地連絡協議会

10月22日オーシャンビュー大洗に於いて、開催されました。今回は開催県である茨城県のテーマ「松くい虫対策状況について」話し合いをしました。各県ともに、以前は、松枯れ防止の対策として、樹幹注入剤の施工等の対策をしたと報告がありました。今現在、被害のピーク時期は過ぎて、被害が少しずつではあるが減少方向に向かっていると事です。

会議終了後は茨城県の組合が指定管理で作業を行っている大洗公園を視察し、海岸沿いに植樹された経緯などの説明をして頂きました。

その後、大洗水族館内に移動し、館長より一つ一つの水槽の説明を頂き、最後にイルカショーの見学をさせて頂きました。私事ながら水族館は久しぶりでしたので、楽しくワクワクしながら館内を見学させて頂きました。

夕方からホテルに戻り懇親会が開催され、そこで他県の方々と情報交換など有意義な時間を持つことが出来ました。

今回は、役員だけではなく青年部からも2名の参加をしてもらいました。今後も、他県の同業者との意見交換に

数多くの会員の皆様に参加して頂くことを望みます。

(有)川島植物園・川島 良則)



## 青年部研修旅行



愛・地球博記念公園で開催された第32回全国都市緑化フェア「花と緑の夢あいち」の視察と会員相互の親睦を目的に、平成27年10月18・19日の2日間で、研修旅行を行いました。

愛・地球博開催時の記憶が蘇る中、愛知県の造園業に関わる皆さんからの情熱が伝わる素晴らしい作品を堪能し、未来を見つめた先進的な取り組みを実感する有意義な研修となりました。特に日曜日の訪問ということで、多くの来場者と共に、都市緑化フェアが産み出す、緑と共生する事の大切さを改めて感じ、今後の造園業の社会的責任を考える良い機会となりました。

また、名古屋城、熱田神宮の見学では、愛知県の歴史・文化に触れ、それを継承することの重要性を学びました。造園業の技術を継承・発展することの大切さを感じると共に、難しさも強く感じる愛知での研修にもなりました。

総じてみると、まずは会員同士の懇親が深まったこと。そして優れた造園技術に触れられたことが、私たち青年部の会員にとって、今後の仕事への新たなモチベーションになり、造園業及び協会の発展へ向けて、各々が前向きになれる研修になりました。

(株)新栄造園・石川 吉治)

